



北海道 支社篇

異国の香りは 潮風にのって

特別史跡に指定される星形城郭

「五稜郭」

徳川幕府の命を受けた蘭学者の武田斐三郎が設計し、1864年に築城された国内初の西洋式城郭。その特徴的な星形の城郭は、防衛側の死角が少ないなどの利点があることから中世ヨーロッパを中心に普及していた。幕府は開港にともなう防備強化を図るため、五稜郭築造に着手。しかし、建設途中で財政難に陥ったため一部の計画変更を余儀なくされ、人馬が出てくるのが直接見えないうにすための半月堡（はんげつほ）は5カ所の予定が1カ所のみしか造られなかった。およそ7年を費やして完成すると、箱館山の麓にあった奉行所が移転。1867年の大政奉還により明治新政府が奉行所の業務を引き継ぎ、名称は箱館裁判所箱館府となる。そして1868年、新政府軍と旧幕府軍との最後の戦いとなる箱館戦争が勃発。旧幕府軍は五稜郭を占拠するも新政府軍の反撃に屈し、1869年5月に五稜郭を明け渡した。五稜郭公園となった現在は、戦火の面影など微塵も感じさせない憩いのスポットに。毎年12月1日から2月末にかけて「五稜星の夢」と題し、五稜郭の堀1.8kmをきらびやかにライトアップ。雪で覆われた五稜郭が、美しい光の星となつて函館の夜に浮かび上がる。また、春には約1600本の桜が一齐に咲き誇り、道内でも有数の桜の名所として親しまれている。



箱館奉行所

築城100周年のモニュメント

「五稜郭タワー」

五稜郭築城100周年を記念して、1964年12月に高さ60mの初代タワーが完成。それから40年余り、2006年4月1日にオープンした新タワーは、高さ107mと大幅にスケールアップ。展望台からは函館山や津軽海峡、横津連峰の山並み、そして五稜郭の全容を見晴らすことができる。建物の形状も五稜郭にちなみ、塔体は星形、展望台は五角形の断面形状を採用している。2層構造の展望台2階には五稜郭の歴史を学ぶことができる展示スペース「五稜郭歴史回廊」が。注目は、回廊に沿って設置されたジオラマ。ペリー提督率いるアメリカ艦隊の来航から五稜郭の築造、箱館戦争の激動とその終結までを、現地踏査と文献調査に基づいて精巧に再現している。また、同じく展望台に置かれた土方歳三のブロンズ像にもご注目。この像は、函館出身でイタリアはローマで活躍していた彫刻家、小寺真知子さん（故人）の作品。ご自身も土方ファンということで、アトリエに土方の写真や掛け、その人間性までを作品に表現している。



五稜郭タワー外観

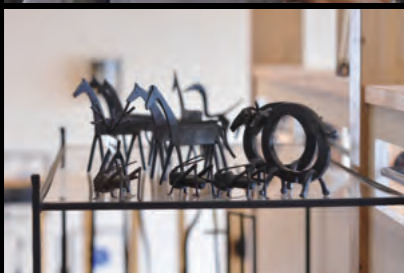


展望エレベーターかご内

鉄と向き合い、己と向き合う

「洋鍛冶工房 杉本」

「どうして洋鍛冶屋をやっているのかって、好きだからやってるんだよ」と眼光鋭く語るのは、3代にわたって鍛冶屋や鉄工所を営んできた杉本さん。もともとは農業や漁業のための実用的な道具を中心に製作していたもの、およそ18年前に洋鍛冶の世界へ。その理由は、冒頭の言葉の通りである。「商売のことは考えない」という杉本さんの職人魂は徹底している。「お客さんから依頼を受けるときは頭のなかのイメージを聞かせてもらえば十分。気に入ってもらえなかったら引き取ればいい」とはいえ、相手のイメージを具現化する確かな腕があつてこそ職人。お客様と再会した際に「あのときはありがとう」と熱い抱擁を頂戴したこともあるという。「鉄と向き合っていると、自分と向き合えるんだ。全力で叩いているか、手は抜いていないか、ってね。もともとと上手くなりたけど、今はもう半日も鉄を叩いたらクタクタになっちゃうんだ」。杉本さん曰く、もはや道内に鍛冶屋は皆無だといふ。弟子を取るつもりもない。「たまたま東京から弟子入りしたいって電話が来るけど、電話口で断っただけで諦めちゃうんだよなあ（笑）」。杉本さんの作品を見るにつけ、その魂と技術が何者かに受け継がれることを願つてやまない。



和洋折衷の平行ワールド

「元町エリア」

1854年の日米和親条約により、1859年に国際貿易港として箱館（現在の函館）が開港。函館は、日本で最も早く外国人が入ってきた街となった。やがて、函館の中心地だった元町エリアにはイギリス、ロシア、オランダなど多くの外国人が集まり居を構えた。そして彼らは、自分たちの祖国と同じ住まいを求めたという。西洋建築の技術を身につけた大工たちは、日本人が建てる家にも西洋のエッセンスを盛り込むように。下半分は和風で上半分は洋風、あるいはその逆といった和洋折衷の家は、その名残といわれている。国の重要文化財にも指定されている旧函館区公会堂は、西洋建築の影響を最も色濃く反映している建物といえるだろう。また、そこかしこにある教会からも異国文化の影響の大きさが偲ばれる。元町エリアの景観でもうひとつ特徴的なのが、合計20にもおよぶ坂道。なかでも幅36mの「二十間坂」からは函館の街を見渡すことができ、人気の観光スポットとなっている。しかし、この36mという道幅は決して眺望のためではない。函館山から海に向かって風が吹き下ろすこの地域は昔から幾度となく大火に見舞われてきた。この広い坂道は、延焼を防ぐ防火道路路としての役割を担っているのだ。開港の激動にさらされ、幾多の災害を乗り越えてきたこの街は、美しくも逞しい。



函館港を一望できる「八幡坂」。二十間坂と並ぶ人気の坂道。

～ ミッション遂行の軌跡 ～

より安全に、より省エネに、
時代が求めるエスカレーターを。

多くの人が集まる場所の大量輸送手段として、1900年のパリ万博にエスカレーターの原型が登場。日本では1914年にアメリカより輸入され、東京日本橋の三越呉服店(現 三越百貨店)に初めて常設された。登場以来100年にわたり、ステップが移動しながら人を運ぶという基本性能に変わりはなく、形や構造にも大きな変化はないという。しかし、エスカレーターは進化を止めたわけではない。三菱電機は、日本国内向けエスカレーターの新製品として、「Sシリーズ」を7月27日に発売した。より安全に、より省エネに、そしてより美しく、社会からのニーズは高まり続けている。変化のないものに進化を与える—このSシリーズの開発に4人の男が立ち向かった。



札幌市時計台

国の重要文化財にも指定されている時計台は、1878年10月にアメリカのWSクラーク博士の構想にもとづき、札幌農学校の演武場として建設されました。「演武場」の名の通り、最初は主に生徒の兵式訓練や心身鍛錬の場として使用されていたそうです。そして1881年、現在の「時計台」の由来となる時計塔を付設し、振り子時計が据え付けられました。ところでこの時計は、何の力で動いているかご存知ですか？答えは、石の重り。時計塔の内部は5層構造になっており、4層目の時計室から1階まで重りが下がっていく力を利用して、電気や電池を一切使わずに鐘を鳴らし、時を刻んでいるのです。1日に156回もの鐘を鳴らし続ける時計台は、これからも札幌の街を見守り続けてくれることでしょう。



札幌市時計台

北海道支社の森山周英がご案内します！
ビルシステム部 昇降機課



北海道庁旧本庁舎にて

北海道庁旧本庁舎

「赤れんが庁舎」の愛称で道民に親しまれる北海道庁旧本庁舎は間口61m、奥行36m、塔頂部までの高さは33mと、明治時代の日本においては国内有数の大建築物でした。1969年には国から重要文化財の指定を受け、現在は札幌の観光スポットとして国内外の方々に愛されています。さて、ここでクイズです。この赤れんが庁舎には、合計でおよそ何個のれんがが使われているでしょう。その数、なんと250万個以上！それらの多くは道内から調達され、北海道を象徴する建物のひとつとなっています。

野菜もたっぷりでエビのスープがサイコー！



イチオシ札幌グルメ

札幌市内には数多くのスープカレー屋さんがありますが、僕のイチオシは奥芝商店さん。素材の旨みを十分に味わえる地元でも評判のお店ですので、札幌へお越しの際はぜひ！

札幌大通西4ビル

僕は2007年の入社時から北海道支社に配属され今年で10年目になります。とくに思い出深い案件といえば2013年6月にオープンした「札幌大通西4ビル」と2015年に完成した「夕張ニューパロタム」でしょう。札幌大通西4ビルはデザインに強いこだわりをお持ちのご担当者で、非常に高度なご要望が寄せられました。稲沢製作所の技術者にとってもかなりハードルの高いプロジェクトになりましたが、最後はお客様にご満足いただける製品を実現でき、自社の技術力を誇らしく感じたことを覚えています。夕張ニューパロタムには堤防内に高さ90mのエレベーターを設置したのですが、こういう珍しい案件に携わることができると北海道という土地柄の魅力です。これからも地域に根ざした営業を通じて、北海道のお客様に貢献したいと考えています。



札幌大通西4ビル

三菱電機北海道支社

もっと素晴らしい明日に向かって。

1947年に札幌営業所として設立して以来、ビルシステム、社会インフラ・交通、電力・エネルギー、情報通信・セキュリティー、産業用機器など幅広い分野で、製品・システムをご提供させていただいております。今後も北海道の新しい社会・産業・生活の実現に貢献してまいります。

北海道札幌市中央区北二条西四丁目1番地(北海道ビル5F) TEL 011-212-3711

私たちにご相談ください！

北海道地区：総代理店
三菱電機ビルテクノサービス株式会社
北海道支社 昇降機営業部
北海道札幌市中央区北2条西4丁目1番地
TEL:011-231-9960

- | | | | | | |
|-------------|--|--|--|---|---|
| Information | 五稜郭タワー
北海道函館市五稜郭町43-9
TEL 0138-51-4785 | 洋鍛冶工房 杉本(ギャラリー)
北海道函館市深堀町31-5
TEL 0138-53-2912 | 札幌市時計台
北海道札幌市中央区北1条西2丁目
TEL 011-231-0838 | 北海道庁旧本庁舎
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL 011-204-5019(平日)
TEL 011-204-5000(土日祝) | スープカレー奥芝商店白石オッカー丸
北海道札幌市白石区菊水元町9条2丁目2-29
TEL 011-839-0061 |
|-------------|--|--|--|---|---|



安全性と省エネへのニーズは
急速に高まっている。

三菱電機(株)
エスカーレーター技術部

吉田 浩二

■安全・省エネへの対応が急務に
定格速度は分速30m、角度は30度、ステップの幅は約100cm、高さは約20cmと、Sシリーズも基本的な部分に大きな変化はない。果たして、その進化のポイントとは――電気システムの開発に携り、当プロジェクトのまとめ役を担った吉田は、2つのキーワードを挙げた。

「まずは安全性に対するニーズの高まりです。身体や目の不自由な方が安心して乗れるようにという声が、2006年のバリアフリー法施行以来、急速に高まりました。もうひとつが、さらなる省エネ化です。東日本大震災以降、消費電力に対するビルオーナー様の意識も高まり、人が乗っていないのに動いているのはもったいないと考えられています。この2つのニーズを満たすことが、Sシリーズの命題だったといえるでしょう。」

安全性向上を図る施策のなかで、今回のトピックスといえるのがスローストップ機能。これまでオプションだった機能を、Sシリーズでは標準採用した。日ごろより仕様のカスタマイズなどでお客様の声に耳を傾け、開発メンバーへ市場ニーズを届ける橋渡しのな

役割を担った入谷は、その経緯をこのように語る。

「緊急時にはしっかりと止まるのが大切なですが、急停止してしまうと将棋倒しなどの二次災害を招く恐れがあります。許容範囲内の距離で緩やかに停止させれば、その危険を低減することができると。市場からは、そんな、緩やかに止まる、機能が求められていました。」

スローストップ機能の停止速度に関しては、実際に試乗を繰り返して綿密な検証が行われた。ステップや手すりといった構造物の開発に携った千村は「私たち実務担当者レベルで完成したと思っても、他の人が乗って違うと思えば何度でも修正しました。それ以外にも、Sシリーズではステップの周囲にある黄色のデマケーションカラーの明度を上げることで視認性を高めたり、手すりの引き込み部をシブシブな構造にすることで巻き込まれた際に解体して救出しやすくするなど、きめ細やかな安全対策を施しています」と振り返る。

Sシリーズから採用されたもうひとつの安全対策が点検床板。東日本大震災の際はいち早く現地へと足を運

び、スパーやデパートのエスカーレーターを自らの目で視察した千村が、その開発背景を振り返った。

「これまではエスカーレーターの支持部分の床の下に隠れていたため、震災当時はどのような影響があったのかをファイバースコープや手鏡などにより1台1台点検せざるを得ませんでした。そこで、点検用の床板を設けて災害時などにすぐ点検できる構造を思いついたんです。今ではSシリーズだけでなく、従来機種にも導入されています。」

さらに、SシリーズにはCSS（コムセーフティスイッチ）なる装置が搭載された。このCSSについて吉田が説明する。「エスカーレーターのステップは床板に向かって水平に進入していくものなのですが、ステップの間に異物が挟まるとステップと床板が衝突してしまいう場合があります。CSSは、このような場合に床板の異常を検知してエスカーレーターを自動停止させて利用者の安全を確保する装置です。」

より安全で、より安心して乗ることのできるエスカーレーターを目指して、その進化は現在進行形で続いている。



理論的に正しくても
動かさなければわからない。

三菱電機(株)
エスカーレーター技術部

砂田 哲也



自らの目で数多くの
エスカーレーターを点検して。

三菱電機(株)
エスカーレーター技術部

千村 大介

■試験、検証、修正を重ねる日々
一方、省エネ化を実現するうえでキーマンとなったのが、インバーターなど電気システムの開発を担当した砂田。インバーターのメリットは、エスカーレーターの利用状況に応じて電気の供給量を任意に調整できる点。混雑時は分速30m、空いているときは分速25m、利用者がいないときはさらに遅くしたり運転を停止するといったことが可能になる。

「インバーターはこれまでもオプションで用意していたのですが、広いスペースが必要になるためなかなか普及しませんでした。そこで今回は、このインバーターを小型化することで標準機能とし、普及させたいと思ったんです。」

「今回は回生コンバーターを標準機能にしたことも大きいですね。たとえばエスカーレーターの場合、下りの運転である程度の人数が乗ると発電させることができます。しかし、一般的なインバーターでは発電した電力を建物に戻すことはできません。それを戻せるようにするのが回生コンバーターなんです。」

バーターによる省エネ運転モードの実現、回生コンバーターの標準搭載、さらには照明のLED化などにより、基本仕様のみで従来機種に比べ約35%もの大幅な省エネ化を実現したSシリーズ。お客様からのニーズに対して、今できることをすべてやった結果だった。

■グローバルな市場を見据えて
安全性と省エネ性を徹底した三菱電機のエスカーレーターは、海外からも非常に高い評価をいただいている。拡大しつつあるグローバルニーズへ対応するため、三菱電機ではタイの生産拠点「三菱エレベーターアジア社（AMEC）」で日本と同じ製品を同じタイミングでリリースできる体制を整えた。

「これまで国内と国外で異なっていた販売システムを統するなど工程の共通化を図り、日本と同じ品質の製品を、より迅速に世界中のお客様へ届ける仕組みづくりを行っています。また、エスカーレーターの部品に際してもすべてを日本からタイへ送るのではなく、たとえば中国のメーカーが製造しているパーツに使えるものがあるならば、それをタイから直接買



お客様へより良い製品を
ご提供することが使命。

三菱電機(株)
エスカーレーター技術部

入谷 豪

い付けることで少しでも製品価格を抑えられるよう工夫しています」と入谷。現地での人材教育も含め、三菱昇降機のグローバル化はますます活気を帯びている。

お客様のニーズに応えるというメーカーとしての責任感と、エスカーレーターに対する作り手としての愛情を結集し、さらには世界の市場までもも見据えた今回のプロジェクト。「しかし、Sシリーズの完成がゴールではありません。砂田の目は、すでにその先を見据えている。

■存在を意識させないことが理想
砂田同様に「まだまだ改良の余地はある」と口を揃えるプロジェクトメンバー。最後に、それぞれのエスカーレーターへの想いと今後の夢について語ってもらった。



吉田「私は丸ビルにあるポストレスのエスカーレーターの開発に携わらせてもらったので、実家のある東京に帰ると1時間くらい眺めてしまいます。私が理想とするエスカーレーターは、存在を意識することなく利用できるものです。エスカーレーターは通路の二部です。乗ろうとか降りようと思わせる時点で、今後改良の余地があると思います。無意識のうちに中央に乗る、無意識のうちに手すりを掴む、いつかそんなエスカーレーターを実現したいですね。」

砂田「私が携わる電気機器というのは外からは見えないので、たまにエスカーレーターの点検などをしていて、つい覗き込んでしまいますね。将来の夢は、入社当時に試作段階まで行った乗り場と中間で速度を変えるエスカーレーターを実現することです。コストや構造の問題で実現には至らなかったのですが、できればもう一度チャレンジしたいです。」

千村「私も自分が手掛けたエスカーレーターには思い入れが強いですね。ドライブがた、鹿児島まで見に行ったこともあるくらいですから。私は意匠に携わっているということもあり、景観の一部になつていくような美しいエスカーレーターに惹かれます。ぜひ、自分の手で手掛けてみたいですね。」

入谷「開発部門が実現した素晴らしい技術や機能を営業部門にしっかりと浸透させ、それがお客様にも伝わるよう橋渡しになることが私の使命と考えています。これからはお客様の声を吸い上げ、それを開発に反映させて、そこからエスカーレーターが変わった、といわれるような製品づくりに貢献したいですね。」



見た目にも美しいLEDによる連続した手すり下照明

よりスマートに、より美しく、デザインも進化

最後にご案内いただいたのは、デザイン面について。意匠担当の千村さんは、手すりの下のライトを見上げてこのように説明してくださいました。「ライトをLED化することで、連続した明かりを実現することができました。従来の蛍光灯では、蛍光管の継ぎ目で明かりが途切れていましたが、LED化した今は明るさも増し、見た目にもキレイですね」。ポストレスの運転方向表示についても、三菱独自のこだわりがあるのだとか。「上りと下りをよりはっきりと識別できるよう、表示面を手前に傾けて視認性を高めつつ、省スペースに貢献するスッキリしたデザインに仕上げました」。昔から基本的な形は変わっていないというエスカレーターですが、デザイン面でも進化し続けているんですね。

緊急停止によるつまずきや転倒の危険を低減するスローストップ機能

取材班がSシリーズの新しい機能のなかで、いちばん気になっていたのが「スローストップ機能」。実際に試乗を繰り返して停止時の減速度の綿密な検証を重ねたという結果が、はたしてどのような効果を生むのか。さっそく従来の緊急停止との比較をさせていただきました。最初にスローストップ機能を発動させた緊急停止。なるほど！たしかに身体が前後に振られることもなく、手すりにさえ掴まっていれば転倒することはなさそうです。次に、従来の緊急停止。ガクン！と一気に止まるエスカレーター。手すりに掴まっていたものの、かなり前のめりの体勢になってしまいました。これが不意に訪れた場合のことを考えると、スローストップ機能の効果は非常に高いと実感できました。



スローストップ機能による緩やかな停止を実感

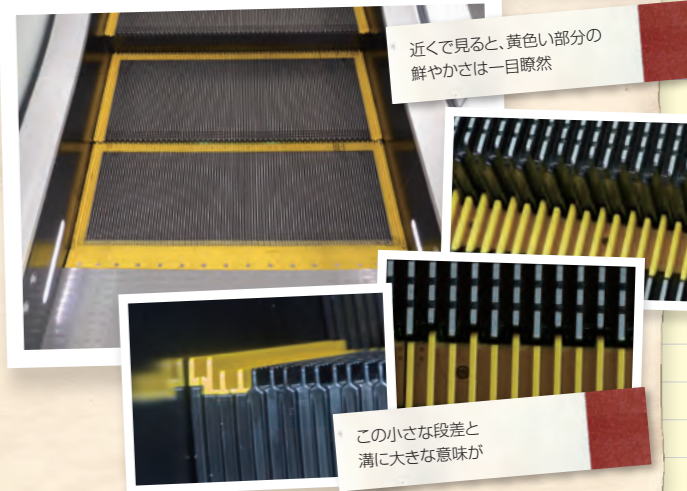
細心の気配りで安全性を高めた 新型エスカレーター「Sシリーズ」を体験!

今回の「ele取材班がゆく!」は、「ミッション遂行の軌跡」に登場した4名の開発者たちがナビゲートしてくれたエスカレーター試験場での体験レポート。新製品Sシリーズの多彩な安全機能、さらにはデザイン面での工夫などについて解説いただきました。緊急停止の実体験などを通して、エスカレーターの秘められた進化を肌で感じた取材班。普段は気づかないような細やかな安全面での配慮にも驚きの連続でした。



見えやすさ・乗りやすさに配慮したステップ

最初にご説明いただいたのは、ステップの視認性を高めるための工夫が施されたデマケーションカラー。「ご高齢の方などのなかには乗降口がわかりにくくて乗りにくいという方もいらっしゃいますので、黄色い部分の明度を上げて見やすくしました」とのこと。なるほど、いわれてみればたしかに黄色い部分が鮮やかです。さらにステップの端の部分にも注目とのこと。「ステップの溝が噛み合う部分の高さをジグザグにすることで衣類の巻き込みや異物の挟み込みを防ぐとともに、両端のデマケーションクリートを一段高く持ち上げることでステップの端に立ちにくくしています。さらに、ステップの先端部に滑り止めの溝を入れ、乗降時に踏み外すことのないよう工夫しました」。細かなところに、多彩なアイデアが盛り込まれているんですね。



近くで見ると、黄色い部分の鮮やかさは一目瞭然

この小さな段差と溝に大きな意味が

取材を終えて

構造や形を大きく変えることが難しいエスカレーター。だからこそ、その進化も非常にきめ細やかです。たとえば、ステップのデマケーションカラーの明度を上げるという工夫。ともすれば「たったそれだけのこと」と思いがちですが、小さな工夫が大きな改善につながるものが、私たちの暮らしのなかにはたくさんあるのではないのでしょうか。安全面のさらなる向上に向けて、細かな部分の絶え間ない研究と検証を重ねている開発陣の方々。その姿勢には、学ぶべきものがたくさんあると感じた取材班でした。

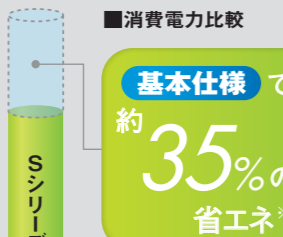
It's new for Next.

Ecology

省エネ運転モード、照明のLED化など、先進のテクノロジーで大幅な省エネを実現。

- 主な省エネ機能
- 基本仕様 NEW インバーター標準装備
- 基本仕様 NEW 省エネ運転モード
- 基本仕様 NEW 照明のLED化
- 基本仕様 回生コンバーター

従来機種



Safety

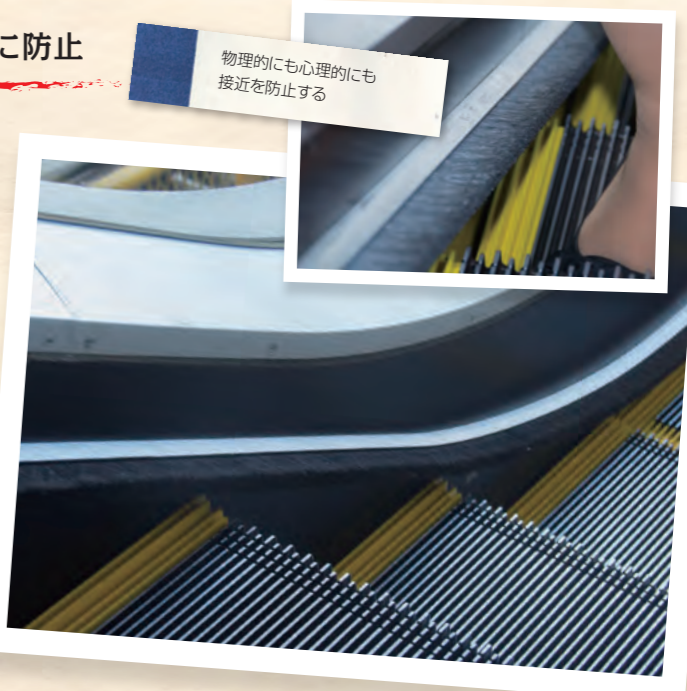
利用者に配慮したスローストップ機能の採用や、巻き込みや挟み込みを低減する機能など、さらなる安全性を追求。

- 主な安全機能
- 基本仕様 NEW 緊急停止によるつまずきや転倒を低減する「スローストップ機能」
- 基本仕様 ステップ部の視認性を向上させる「デマケーションカラー」
- 基本仕様 巻き込みや挟み込みを低減する「デマケーションクリート」
- 基本仕様 ステップの踏み外しを低減する滑り止め溝

※従来機種との比較。S1000SAL形(欄干照明あり)、階高5m、利用者数100人/時、待機時間20~30分間の場合。省エネ効果はご利用状況、建物の仕様により異なります。

ステップ両端への接近を物理的・心理的に防止

ステップの端に立たないようにするための工夫はそれだけではありません。ステップの横のスカートガードに、見慣れないブラシのようなものが。じつはこれ、オプションで取り付けられる「スカートガードプラス」という装備なのだとか。「日本ではまだ普及していませんが、欧米では一般的な安全性向上機器です。物理的にステップの両端へ近寄ることができなくすることで、巻き込み等の事故を未然に防ぐわけです。さらに、このスカートガードプラスには物理的な効果だけでなく、心理面に働きかける効果も大きいといえます。「やはりブラシが出ていると、靴や衣類が触れないようにという心理ははたらく、自然と端に立つことをやめるのです」とのこと。よく考えられているなと感じしきりの取材班でした。

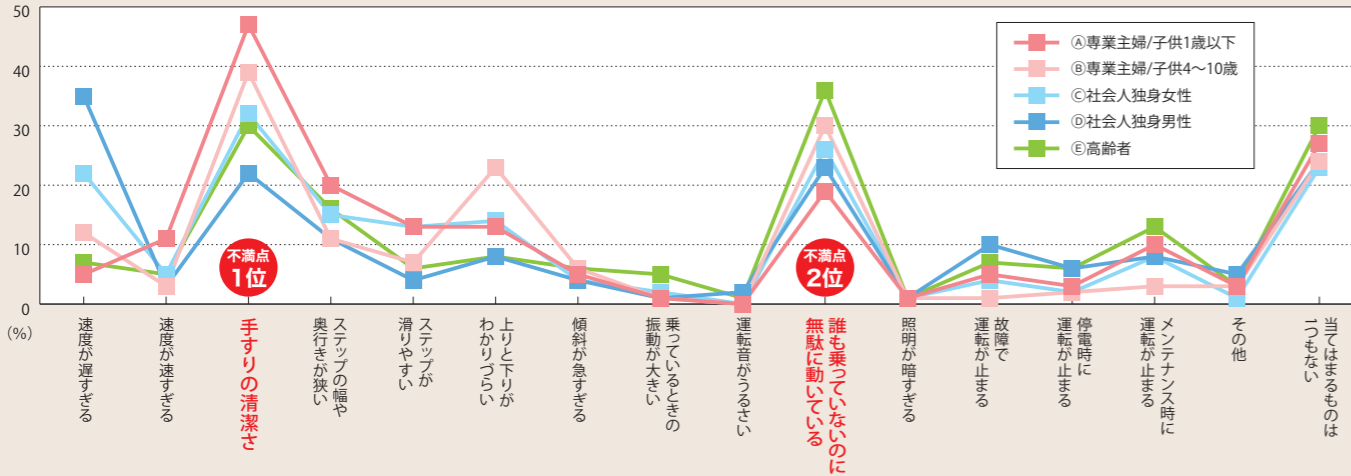


物理的にも心理的にも接近を防止する

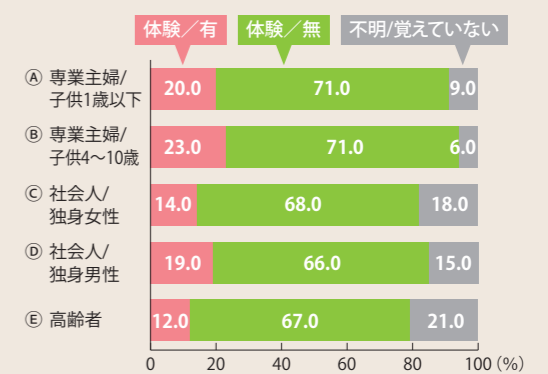
日ごろエスカレーターを利用して 不安や不満を感じることはありますか？

誰もがより安心して利用していただけるよう、安全性を追求し続けるエスカレーター。そんなエスカレーターを、人々は日ごろどのような意識で利用しているのか。主婦、社会人、高齢者など、さまざまな方を対象に行ったアンケート結果と新型エスカレーター「Sシリーズ」の機能をご紹介します。

▼エスカレーターに関する不満点



▼エスカレーターでヒヤッとした体験の有無



実際にヒヤッとしたことのある人は1~2割程度

私たちの日常生活に欠かせないエスカレーター。利用されている方々は、日頃どのようなことを意識してお使いなのだろうか？

今回は、回答者を5つの利用者層に分けて（1歳以下の子供を持つ専業主婦(A)、4歳以上10歳以下の子供を持つ専業主婦(B)、20代、30代の独身女性(C)、および男性(D)、65歳以上の高齢者(E)アンケートを実施した。

まず最初の質問は「エスカレーターでヒヤッとした体験の有無。右の図を見てわかるように、ヒヤッとした体験をしたことがある人は2割程度いることがわかった。

では、その体験とは、どのようなものなのか。その内容を見てみると「下りエスカレーターに乗るときの転倒やつまずき」という回答が最も多く、とくに子供を持つ専業主婦(A)に顕著な傾向が見られた。

重視する性能や機能は全利用者層で概ね共通

別の設問で「エスカレーターの性能や機能の重視度」をアンケートしたところ、順位に微妙な差異はあるものの概ね共通した傾向が見られた。下の図が、各利用者層におけるトップ5をまとめたもの。年齢や性別にかかわらず、安全装置が作動して緊急停止する際、安全性に配慮して緩やかに停止する機能が含まれており、緊急時の安全性に対する意識は高いことがわかった。

同様に「乗降時の乗りやすさ・降りやすさ」もあらゆる利用者層が重視する点に挙げ、とくに子供の有無にかかわらず女性にとって重要なポイントであることが見て取れる。また、ステップとスカートガードの隙間の衣類の巻き込まれ防止機能への要求も女性を中心に高くなっている。

その他、次の「エスカレーターに関する不満点の第1位」としても出てくるが「手すりの清潔さ」は、3つの利用者層で重視されており、手すりにつかまろうという意識はあるもののつかまりづらい現状が分かる。

社会から求められる省エネ性

エスカレーターの不満点で第2位に付いているのは「誰も乗っていないのに無駄に動いている」。エスカレーターでも省エネ性が着目されるのは2011年3月の東日本大震災の影響によるもの。社会という大きな観点でも、より高度な省エネ機能へのニーズはますます高まっていることが分かる。

1 2 3 4 5 については左ページをご覧ください。

▼エスカレーターの性能や機能の重視度

	(A) 1歳以下の子供を持つ専業主婦	(B) 4歳以上10歳以下の子供を持つ専業主婦	(C) 20~30代の独身女性	(D) 20~30代の独身男性	(E) 65歳以上の高齢者
1位	乗降時の乗りやすさ・降りやすさ	ステップとスカートガードの隙間に、衣類やサンダルが巻き込まれることを防止する機能	故障しにくいこと	故障しにくいこと	故障しにくいこと
2位	安全装置が作動して緊急停止する際、安全性に配慮して緩やかに停止する機能	安全装置が作動して緊急停止する際、安全性に配慮して緩やかに停止する機能	乗降時の乗りやすさ・降りやすさ	安全装置が作動して緊急停止する際、安全性に配慮して緩やかに停止する機能	ステップとスカートガードの隙間に、衣類やサンダルが巻き込まれることを防止する機能
3位	ステップとスカートガードの隙間に、衣類やサンダルが巻き込まれることを防止する機能	乗降時の乗りやすさ・降りやすさ	ステップとスカートガードの隙間に、衣類やサンダルが巻き込まれることを防止する機能	手すりの清潔さ	乗降時の乗りやすさ・降りやすさ
4位	手すりの清潔さ	両端のデマケーションクリートを持ち上げ、衣類の巻き込みや挟み込みを防止する機能	手すりの清潔さ	乗降時の乗りやすさ・降りやすさ	安全装置が作動して緊急停止する際、安全性に配慮して緩やかに停止する機能
5位	両端のデマケーションクリートを持ち上げ、衣類の巻き込みや挟み込みを防止する機能	故障しにくいこと	安全装置が作動して緊急停止する際、安全性に配慮して緩やかに停止する機能	速度の速さ	故障した際に監視センターへ自動通報する機能

お客さまからの「声」をカタチに！

より安全に、より省エネに、そしてより美しく。 三菱エスカレーター「Sシリーズ」

基本仕様

スムーズな乗降を実現する低すくい角「くし」

くし先端部のすくい角を10°に設定。より緩やかにすることで、乗り上げ時の抵抗を減少させ、スムーズな乗降をサポートします。また目立つカラーリングで、乗降時の境目をわかりやすくしています。

基本仕様 **NEW**

スローストップ機能

安全装置が作動して緊急停止する場合も、利用者の安全を配慮して緩やかに停止。緊急停止によるつまずきや転倒を低減します。 ※停電時等には急停止する場合があります。

基本仕様

汚れが付きにくく、取れやすいウレタン手すり

リサイクル可能で環境にやさしく、素材自体に光沢のあるウレタン製手すりを標準装備しています。 ※屋内・準屋外仕様の場合のみ適用可能です。

基本仕様

踏み外しを低減する滑り止め溝

ステップの先端部に滑り止めの溝を入れ、乗降時の踏み外しを低減します。

基本仕様

巻き込みや挟み込みを低減するデマケーションクリート

両端のデマケーションクリートを持ち上げ、ステップの端部に立ちにくくすることで、ステップとスカートガード間への衣類の巻き込みや挟み込みを低減します。

基本仕様 **NEW**

省エネ運転モード

センサーで利用者の混雑度を検出し、利用者数に応じた速度コントロールを行います。多い時は30m/min、少ない時は25m/minで運転し、利用者がいない場合は20m/minまで速度を落とします。快適性を損なわずに省エネ効果を発揮します。

有償付加仕様

水平3枚ステップ

乗降部の水平部をステップ3枚分確保することで乗降しやすくします。

有償付加仕様 **NEW**

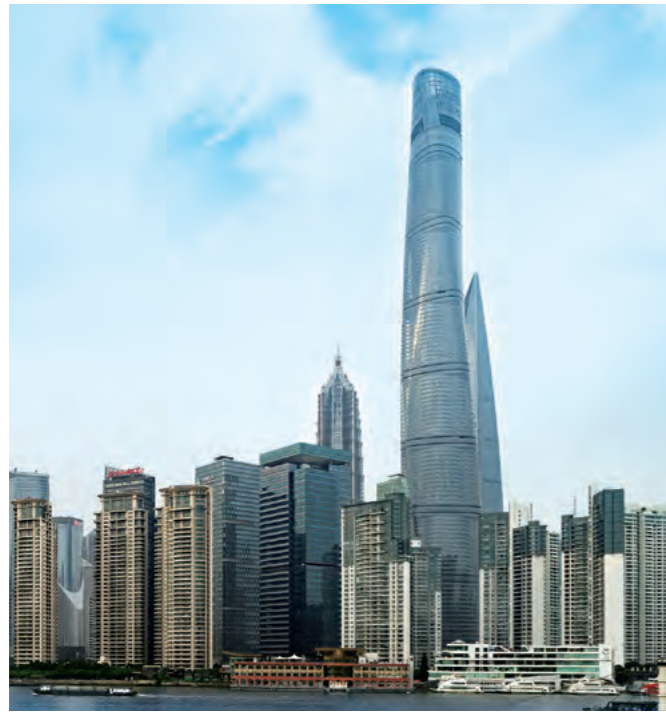
スカートガードプラス

スカートガード全体にブラシを装着します。ステップの端部に立ちにくくすることで、ステップとスカートガード間への衣類の巻き込みや挟み込みを低減します。 ※長期利用によりブラシが汚れている場合、衣服等が汚れる可能性があります。

中国最高層ビル「上海中心大廈」向けに適用 世界最高速となる分速1,230mの超高速エレベーター技術を開発

三菱電機株式会社は、世界最高速^{※1}となる分速1,230mのエレベーター技術を開発しました。
同技術を、中国・上海市の中国最高層ビル「上海中心大廈」(地上高さ632m)向け
世界最高速エレベーター3台^{※2}のうち1台に適用します。

※1:2016年5月10日現在稼働しているエレベーターにおいて、当社調べ ※2:分速1,080mにて納入済みの展望階行きエレベーター



開発技術を活用する昇降機の特長

世界最高速となる分速1,230m(時速73.8km)
の展望階行きエレベーター

◎世界最高速への挑戦

巻上機モーターの出力を最大限に引き出す制御盤や、调速機・ブレーキ装置・緩衝器などの安全装置の開発により、分速1,230mを実現。

◎展望階までわずか53秒

地下2階から地上119階の展望階まで約53秒で到達する世界最高速エレベーター。

◎安全性へのこだわり

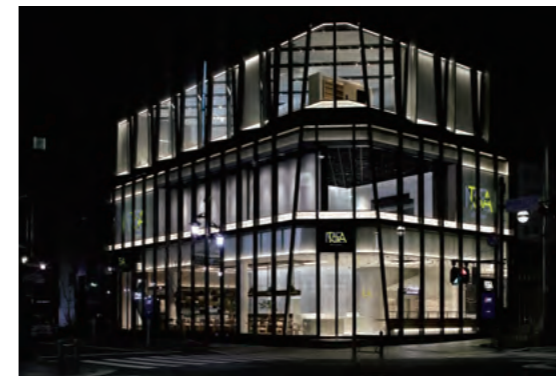
当社の最先端技術により、世界最高速を実現しつつ、さらなる安全性と世界トップクラスの乗り心地・静粛性・省エネ性を実現。

ショールームを超えた体験型イベントスクエア

三菱電機イベントスクエア「METoA Ginza」



2016年3月のオープン以来、まったく新しいイベントスクエアとして話題を呼んでいる「METoA Ginza(メトア ギンザ)。「見て」「ふれて」「体験して」をキーワードに、単なる製品展示ではなく、体験型イベントの定期開催や併設するカフェレストランとの連動により、三菱電機グループをもっと知っていただき、もっと好きになってもらうための拠点として展開しています。



新しい発見を、三菱電機といっしょに。——そんな三菱電機の思いをカタチにした三菱電機のイベントスクエア「METoA Ginza」。三菱電機のテクノロジーがアートや伝統、さまざまな文化と結びつき、ここにしかない発見や驚きを見て、触れて、体験できるスポットとして注目を集めています。そんなMEToA Ginzaの見どころのひとつが、各フロアをつなぐエレベーター。音質に定評のあるDIATONEスピーカー11台を搭載し、立体的で臨場感のある音響を実現。まるで森や海に包まれているかのような音を体感することができます。立体音響の音源は、サウンド・クリエイターとして世界でも幅広く活躍されているYosi Horikawa氏が担当。ここでしか体験できない驚きのサウンドは必聴です。



2階にはMEToAの象徴ともいえる64面液晶マルチディスプレイ「METoA VISION(メトアビジョン)」が。横幅19.4m、高さ2.7mの大画面に映し出される美しい映像は、圧倒的な迫力で観る人を魅了します。また、1階のカフェ「Me's CAFE&KITCHEN(ミーズカフェアンドキッチン)」では、オーストラリアで人気のミニバーガー「パドルバーガー」や「オールプレス・エスプレッソ」のスペシャルティコーヒーを味わうことも。銀座へお越しの際は、ぜひMEToA Ginzaで“心が動く新しい発見”を満喫してください。

- 名称: METoA Ginza(メトア ギンザ)
 - 由来: Mitsubishi Electric:Touch of Advancement
(三菱電機で未来に触れる)
 - 所在地: 東京都中央区銀座5-2-1 [東急プラザ銀座]内
 - 施設内容: イベント・展示スペース、カフェレストラン
- www.metoa.jp

